

平成23年11月1日『県政タウンミーティング』主な発言要旨及び施策への反映状況調査票

集会での発言		参加者の発言に対する県の考え方	所管課
参加者発言内容	知事等発言内容	概要	部・課名
【障害者スポーツの支援組織の一本化について】			
○サンアップル(長野県障害者福祉センター)と長野県障がい者スポーツ協会の一体化はできないか。事業が重複しているのではないか。	<知事> ○サンアップルと長野県障がい者スポーツ協会については、経過を教えてください。	○両組織との打合せを行う等、本年秋頃を目途に方向性を決定するよう検討を進めています。	健康福祉部 障害者支援課
【障害者が利用できるスポーツ施設について】			
○サンアップルのような施設(障害者が利用しやすい施設又は障害者専用のスポーツ施設)を中南信地域にも作ってほしい。  ○トイレ、バリアフリーなどに問題があり、既存の施設は障害者に使いにくい。	<知事> ○今ある施設を障害者に使いやすくするとかできないのか、学校や市町村の施設も含めて使える努力をしなくてはならない。まず市町村・地域にある施設を障害者に使いやすく変えて行かないといけない。	○社会体育施設管理者に対して、障害者利用への配慮を平成23年11月28日付けの文書で依頼しました。 ○施設管理者の会議や研修会等の機会を捉えて、障害者利用への配慮を働き掛けます。 ○障害者自立支援対策臨時特例基金特別対策事業(体育館等バリアフリー緊急整備事業)を活用して、体育施設を障害者が利用するために必要な施設等の整備を検討するよう、市町村に対して依頼しました。	健康福祉部 障害者支援課
【資質の高いスポーツ指導者の育成について】			
○障害の特性を理解した上で指導を行えるような指導者の育成と配置が必要である。	<知事> ○指導員の養成についても考えたい。	○教育委員会と連携して、市町村のスポーツ推進員や日本体育協会公認のスポーツ指導員等に対して呼び掛けるなど、随時研修会の受講等を働き掛けることにより、障害者スポーツについての理解を促進し、競技に精通した専門性の高い指導者を育成します。	健康福祉部 障害者支援課

平成23年11月1日『県政タウンミーティング』主な発言要旨及び施策への反映状況調査票

集会での発言		参加者の発言に対する県の考え方	所管課
参加者発言内容	知事等発言内容	概要	部・課名
【障害者スポーツの広報・県民への周知について】			
<p>○新聞報道での扱いが非常に少なく、活動を広く伝える場が少ない。県の事業にあわせて障害者の活動等をもっと取り上げて広めるべきではないか。</p> <p>○大会で好成績をあげても、マスコミの取り上げ方は一過性の反応しかない。</p> <p>○もっと交流が必要と思うが、声がかからない。大会を長野市内でもやるが、観客が少ないので、地域の学校等から応援にきてもらいたい。</p>	<p>&lt;知事&gt;                      ○活動を伝えることは重要だと思う。                      ○県として広く一般の県民に知らせる方法を考え意識的に(情報提供の機会を)増やすことを考える。                      ○広報を含め、県民によく知らせたい。</p>	<p>○障害者スポーツ広報専用のサイト「障害者スポーツなび」を、平成23年12月1日に県の公式ホームページ内に開設し、大会の開催等幅広い情報を提供しています。                      ○平成24年1月に開催されたジャパンアイススレッジホッケーチャンピオンシップ等規模の大きな大会等については、開催地近隣の小中学校へチラシを配布する等周知しています。                      ○その他、障害者スポーツについては、広報県民課と連携して様々な媒体を利用して広報しています。</p> <p>○ラジオ番組、インターネット番組及びケーブルテレビの番組で取り上げました。                      ○12月から県ホームページのトップページに「障害者スポーツなび」へのリンクを作成しました。</p>	<p>健康福祉部 障害者支援課</p> <p>総務部 広報県民課</p>
【障害者スポーツと地域・学校との関わりについて】			
<p>○障害のある子にも普通の子と同じ体験をさせたいが、先生達は「どうしたらよいかわからない、事故が起きたら困る。」と言う。小学校に専門のインストラクター等を派遣するシステムを作してほしい。</p>	<p>&lt;知事&gt;                      ○インストラクターを育成すべきということは、そのとおりだと思う。                      ○学校に入って行きづらい環境があるなら交流ができるように考えなければいけない。                      ○教育委員会とはよく話して障害者とコミュニケーションがとりやすいようにしたい。                      ○学校はもっと地域に開かれなければいけないと思っている。                      ○仕組みがないという話は、もう少し効果が上がるような仕組みを考えたい。</p>	<p>○学校や市町村教委からの指導者派遣に関する問い合わせに対しては、長野県障害者スポーツ指導員協議会(長野県障がい者スポーツ協会内)で指導者の紹介が可能である旨周知してまいります。</p> <p>○障害者スポーツ指導員の資格取得について、会議や研修の場を通してスポーツ推進委員に働きかけてまいります。また、公認スポーツ指導者への資格取得の推進方策について、(公財)長野県体育協会と検討を進めてまいります。</p>	<p>教育委員会事務局 スポーツ課</p>
<p>○特別支援学校の授業の中で、障害者スポーツの団体に活躍してもらおうということを考えてほしい(仲介など、県の関与をという趣旨)。</p>		<p>○障害者スポーツの団体等に、授業等で指導をお願いしている学校は現在7校にのぼります。こうした事例を研究すること、また、各校に紹介することなどを通して、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。</p>	<p>教育委員会事務局 特別支援教育課</p>
<p>○自分は教師をやっていた経験から、学校で直接障害者とふれあうことに勝ることはないと思うが、学校にはお金がなく交通費や謝金などの問題があって進まないということがある。</p>		<p>○長野県教育委員会のホームページの「地域人権ネット」に関しては、引き続き学校や地域での活用を働きかけてまいります。                      ○県事業で実施する研修会等の交通費や謝金については負担していますが、それ以外は県で負担できないため、事業主体で負担していただいております。</p>	<p>教育委員会事務局 心の支援室</p>

平成23年11月1日『県政タウンミーティング』主な発言要旨及び施策への反映状況調査票

集会での発言		参加者の発言に対する県の考え方	所管課
参加者発言内容	知事等発言内容	概 要	部・課名
○障害のない子が当たり前に行える体験を障害がある子もできるようにすべき。障害のある子の総合的な支援をする仕組みを作ってほしい。		○スポーツについては、各種大会や行事等に障害のある子が参加しやすくなるよう、実施主体等と協議して内容の拡充等を検討します。 ○県民スポーツフェスティバルの障害者参加メニューを拡充する等、障害者スポーツ関係以外の行事等においても、障害のある子とない子の交流促進と参加機会拡大に努めます。 ○総合的な支援の仕組みについては、長野県スポーツ推進計画策定の検討過程等で、教育委員会と連携してニーズを把握し、対応を検討してまいります。	健康福祉部 障害者支援課
		○スポーツについては、各種大会や行事等の委託先(実施主体)である長野県障がい者スポーツ協会や長野県障害者福祉センター(サンアップル)と協議して、障害のある子が参加しやすくなるよう内容の拡充等を検討してまいります。また、障害者スポーツ関係以外の団体とも協議・連携して、障害のある子とない子の交流促進と行事等の参加機会拡大に努めてまいります。	教育委員会事務局 特別支援教育課
		○総合的な支援の仕組みについては、教育委員会と連携してニーズを把握し、対応を検討してまいります。	スポーツ課